

「公印省略」

30 建技調第 20 号-5
平成 30 年 9 月 27 日

関係各位
(県市町村)

公益財団法人福岡県建設技術情報センター理事長

平成 30 年度 建設技術等講習会
『地盤改良セミナー』について (ご案内)

当財団では、情報事業の一環として、「民間等で開発された新しい建設技術やリサイクル、環境及び IT 関連の建設技術等の普及・支援」を目的に、建設技術等講習会を実施しております。

この度、一般社団法人セメント協会からの申し入れにより、標記講習会を下記のとおり開催することとなりました。

つきましては、多くの方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。

記

- 講習会名 平成 30 年度 建設技術等講習会
『地盤改良セミナー』
ーセメント系固化材の広がる用途と役割ー
- 主催者 一般社団法人 セメント協会
協力 公益財団法人 福岡県建設技術情報センター
- 開催日 平成 30 年 11 月 20 日 (火)
13:30~16:30 (13:00より受付開始)
- 場所 福岡県建設技術情報センター 3階大研修室
駐車台数に限りがありますので、公共交通機関のご利用もしくは 相乗りを
お願いします。
- 定員 150名
(定員になり次第締め切らせて頂きます。受講決定の通知は行いませんが、定員を
超える申込があり、受講できない場合についてはお知らせいたします。)
- 受講料 無 料
- 申込締切 平成 30 年 11 月 13 日 (火)
参加を希望される方は別紙様式にて当財団あて、FAXによりお申し込み願います。
- 問合せ先 (公財) 福岡県建設技術情報センター
試験研究課 調査研修係 坂口・長野
〒811-2416 糟屋郡篠栗町大字田中 315-1
TEL 092-947-2643 FAX 092-947-2504

地盤改良セミナー(案)

ーセメント系固化材の拡がる用途と役割ー

日 時: 2018年11月20日(火)13:30~16:30

場 所: 福岡県建設技術情報センター・大研修室

[〒811-2416 福岡県糟屋郡篠栗町田中 315-1]

* 本セミナーは「土木学会認定 CPD プログラム」です。

講 演:

1. 土を固めるセメント系固化材

(一社)セメント協会セメント系固化材普及専門委員会 九州地区担当 庄山 隼人 氏 13:30~14:30

< 休 憩 > 14:30~14:40

2. セメント系固化材の適用事例と長期安定性の検証

(一社)セメント協会セメント系固化材技術専門委員会 委員長 黒澤 功 氏 14:40~16:10

3. 質疑応答 16:10~16:30

平成 30 年度 建設技術等講習会
地盤改良セミナー セメント系固化材の広がる用途と役割

セメント協会では、東日本大震災の発生を契機に、セメント系固化材を用いた改良地盤の被害状況を調査し、耐震効果を確認しました。また、自然災害からの復旧復興工事や将来の大規模災害に備えた地盤改良工事、全国で汎用的に実施される地盤改良工事の情報収集を行い、これら調査結果を 3 冊の報告書に取りまとております。

本講習会では、報告書に掲載している適用事例を紹介しながら、セメント系固化材への理解を深めて頂きます。

東日本大震災におけるセメント系固化材を用いた地盤改良に関する調査報告書
(2013 年 2 月発行)



目次(A4判 78 頁)

1. 地震の概要
2. 地震による地盤および構造物の被害状況
3. セメント系固化材を用いた地盤改良に関する調査
4. セメント系固化材による地盤改良の耐震効果
5. 震災復旧・復興における地盤改良(2 事例)
6. セメント系固化材を用いた地盤改良への期待

大規模災害に対してセメント系固化材による地盤改良が果たす役割
(2015 年 3 月発行)



目次(A4判 111 頁)

1. はじめに
2. 地震と地盤改良
3. 東日本大震災からの復旧・復興工事(7 事例)
4. 大規模災害を想定した地盤改良工事
5. 座談会
6. おわりに

セメント系固化材の広がる用途と役割
(2018 年 4 月発行)



目次(A4判 137 頁)

1. はじめに
2. セメント系固化材による地盤改良の広がり
3. 調査概要
4. 汎用的な地盤改良工事
5. 強化復旧・防災における地盤改良工事
6. おわりに

報告書をご希望の方はセメント協会 Web サイトで無償ダウンロードできます

<http://www.jcassoc.or.jp/cement/1jpn/jf8a.html>

〈セメント協会主催セミナーのご案内〉
近日中にセメント協会ホームページにてご案内いたします

ライフサイクルコストに優しい コンクリート舗装の入門セミナー

コンクリート舗装は1960年には30%程度を占めていましたが、現在は5%程度に減少し、一般的には「道路舗装=アスファルト舗装」との認識が広く定着しています。一方、昨今、公共投資の厳しい財政環境が続く、将来の少子高齢化に伴う労働力不足も社会問題として大きく取り上げられています。コンクリート舗装はアスファルト舗装に比べて高耐久・長寿命であるため、低ライフサイクルコストであることが立証されています。つまり、コンクリート舗装は数十年先の長い将来を見据え、安心・安全な道路環境を現在よりも低廉に提供できる舗装と言えます。しかし、コンクリート舗装が将来に有効な舗装として広く認識されていないのが現状です。舗装に携わる関係者により、コンクリート舗装の普及が進まない原因の検証が重ねられ、その結果、「交通開放までに時間がかかる」、「補修時期の判断や方法がわからない」など様々な課題について検討がなされ、技術的な解決策が充実してきました。

国土交通省はこれらを背景に道路関係予算概要や技術基本計画などにコンクリート舗装推進に向けたスローガンを掲げ、コンクリート舗装の普及率アップに向けた環境は整いつつあります。しかし、この方針が最初に示されてから5年経過した今もコンクリート舗装が認知・浸透しているとは言い難いです。

セメント協会では、この理由として道路管理者、設計者、施工者の実務担当者の多くはコンクリート舗装への理解がまだまだ浅く、コンクリート舗装に触れる機会も少ないと考えました。そこで、今回、「たくさんの実務担当者にコンクリート舗装を知ってもらおう」ことを目的に本セミナーを開催することと致しました。

本セミナーがコンクリート舗装に対する重要性・有効性の理解を深め、今後の道路舗装の計画、設計、施工、補修の業務に活用されることを期待しております。この機会に是非ともご聴講いただけますようご案内申し上げます。

1. 日 時：2019年3月14日（木）13:30～16:50
2. 会 場：アクロス福岡 大会議室
[〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神 1丁目1番1号]
3. 受講料：無料
4. 定 員：200名（定員になり次第締め切らせて頂きます）
5. CPD：土木学会認定CPDプログラム
6. 講 演：
13:30～13:35 開会の挨拶
（一社）セメント協会 常務理事 藤原 要 氏
13:35～14:05 舗装に関する最近の取組みとコンクリート舗装
（株）IHI 常任顧問（元国土交通省 技監） 菊川 滋 氏
14:10～15:40 コンクリート舗装の基礎知識
（一社）セメント協会 舗装技術専門委員会 委員長 小梁川 雅 氏
15:50～16:50 早期交通開放型コンクリート舗装
1DAY PAVE 製造施工マニュアルのポイント
（一社）セメント協会 コンクリート普及専門委員会
コンクリート舗装推進ワーキンググループ 玉滝 浩二 氏
7. お問い合わせ先：セメント協会 普及部門 TEL：03-5200-5060

平成30年度 建設技術等講習会参加申込表

『地盤改良セミナー』

ーセメント系固化材の拡がる用途と役割ー

(公財) 福岡県建設技術情報センター

試験研究課 調査研修係 長野 行

FAX 092-947-2504

機関名： _____

参加者名	課係名	役職名	備考

申込者名： _____

連絡先：TEL () _____

申込締切 平成30年11月13日 (火)

■送り状なしでこのままFAXして下さい■